

平成20年度 相馬市の事務事業の外部評価結果

登録番号	事務事業名	各委員評価(人)				委員会評価	委員会コメント
		A	B	C	D		
1	接遇向上推進	3	3	1	-	B	現状のまま継続し、接遇向上に取り組むことが妥当と考えられるが、アンケートなどが単なる「形式」にならないように手法等の改善は必要である。
2	業務の共有化の推進	4	2	1	-	A	職員間で、取組みに偏りが見られるが、仕事のたらい回し防止や事務引継ぎの効率化の面で効果的な取組みであると考えられるため、全庁的な浸透に向けて、さらなる推進が必要である。
3	庁舎内文書整理	1	3	3	-	B	机の上の書類の積み重ね、ロッカー等に入りきらない簿冊、これらは早急に改善すべきことであり、パソコンの有効利用による書類の少量化や書庫内の分類の徹底を進めることが必要である。
4	情報の共有化の推進	4	3	-	-	A	各課間の情報の共有化は必要であるが、それを情報統計係で管理することは問題である。あくまで、各課において自部門の情報を管理し、必要な人がいつでも見れるようなシステムを構築すべきである。
5	相馬市役所地球温暖化防止対策の推進(エコオフィス活動)	4	3	-	-	A	大いに推進すべき事業であると考えられるが、検証の内容に具体性が乏しい。さらなる実践が必要である。
6	職員研修事業	4	2	1	-	A	研修の成果を業務の中で実行し、問題点を改善していくことは職員の育成上有効であり、今後も研修マネジメントの高度化を期待したい。
7	相馬消防署整備事業	6	1	-	-	A	消防署は、市民の生命・財産を守るための拠点であり、整備内容を充実するために事業を推進してほしい。
8	中長期財政計画の公表	7	-	-	-	A	市の財政状況を公表することは、大変良いことである。中長期財政計画を作成し、問題点を明らかにして市民に理解してもらうことが大切である。
9	遊休市有地の積極的な売却・貸付	4	2	1	-	A	市有地の売却・貸付を推進するためには、売却価格を実勢に合わせるが必要と考える。
10	市税収納特別対策の実施	3	3	1	-	B	市税滞納件数が4,243件もあることには驚きを感じたが、厳しい状況の中においても滞納者の圧縮をしてほしい。

平成20年度 相馬市の事務事業の外部評価結果

登録番号	事務事業名	各委員評価(人)				委員会評価	委員会コメント
		A	B	C	D		
11	会計審査事務	1	4	1	1	C	現状を見ると、改善の余地が大いにあると考えられるため、数値目標を設定して本気で取り組むべきである。
12	選挙啓発推進事業(常時啓発)	1	6	-	-	B	選挙で投票することの意義を、小中学校においても教育することが大切である。また、投票所の圧迫感をなくするため、レイアウトを改善することが必要である。
13	NPOの設立・運営支援	2	4	1	-	B	NPOへの情報提供や活動を活発化させるための取組みが不足している。
14	市長メールマガジンの発行	4	3	-	-	A	良い企画であるため、もっとピーアールを行うことが必要である。
15	広報紙「広報そうま」の内容充実	6	1	-	-	A	広報紙の内容が改善されてきていることは評価できる。今後も、文字の大きさや掲載記事の見直しなどを行いながら、内容の充実に努めてほしい。
16	市民にわかりやすいホームページづくり	3	4	-	-	B	ホームページの内容は充実されてきている。分かり易い内容、スピーディな更新を基本に、更なる充実に努めてほしい。
17	議会等中継配信	2	3	2	-	B	事業の必要性について、疑問な部分もあるが、当面は継続することが妥当である。
18	システム使用業務の運用マニュアル整備	2	5	-	-	B	現状のまま事業を継続することが妥当であるが、目標をより明確にすることが必要である。
19	職員に対する情報セキュリティ教育の実施	6	1	-	-	A	情報化社会において、情報の保護は重要な業務であり、職員の教育は徹底して行うことが必要である。
20	人間ドックの実施	3	4	-	-	B	精密検査受診率を向上させるため、事業を継続することが妥当である。

平成20年度 相馬市の事務事業の外部評価結果

登録 番号	事務事業名	各委員評価(人)				委員会 評価	委員会コメント
		A	B	C	D		
21	口座振替の促進	4	2	1	-	A	業務の効率化を図る上で、さらに推進すべきであり、取組みの強化が必要である。
22	申請免除等の勧奨	2	4	-	-	B	国民年金の保険料未納者を減少させるために、「保険料免除被保険者」の数を増やすという内容であるが、免除がなぜ目標なのか分かりにくい。
23	ごみ減量化推進事業	6	1	-	-	A	ごみの減量化は、処理経費の削減や埋立処分場の延命のほか、環境保全の面からも更なる推進が必要である。
24	生ごみ処理機等設置の奨励	2	5	-	-	B	事業の目的を明確にして、ピーアールを積極的に行うべきである。
25	事業所排水の監視	3	4	-	-	B	事業を継続することは妥当であるが、排水基準を超過した事業所への対応内容については検討が必要と考えられる。
26	相馬市くらしの情報掲示板設置	1	-	5	1	C	事業の目的・必要性について理解することが難しい。再度、内容や手法の見直しが必要である。
27	地域子育て支援事業	4	3	-	-	A	今後ますます必要性が増大する事業であるため、広報方法に工夫が必要である。
28	市独自のDV女性相談窓口の設置	2	5	-	-	B	受け身の対応だけでなく、ドメスティック・バイオレンスを見つけ出す等の取組みも検討してほしい。
29	地域支援事業(介護予防事業)	5	2	-	-	A	事業の目的や内容を、市民に理解してもらうための取組みが必要である。
30	高齢者声かけ訪問サービス事業	4	2	1	-	A	今後ますます重要となるサービスであり、担い手となるボランティアの確保・育成のための取組みの強化が必要である。

平成20年度 相馬市の事務事業の外部評価結果

登録番号	事務事業名	各委員評価(人)				委員会評価	委員会コメント
		A	B	C	D		
31	点字図書等の充実	3	3	1	-	B	現状のまま事業を継続することが妥当である。
32	早期家庭復帰支援体制強化事業	1	5	-	1	B	入園児童の家庭復帰支援は必要であるが、愛育園については、県に移管すべきと考えられる。
33	検(健)診事後指導の充実	2	3	2	-	B	現状のまま事業を継続することが妥当である。
34	集落営農団体の育成	1	3	2	1	B	国の方針に基づく事業だけでなく、地域の特性・現状を踏まえた上での事業展開が必要である。
35	認定農業者の育成	1	3	3	-	B	農業者育成のために必要な事業であると考えられるため、認定農業者の特典について、再度PRすることが必要である。
36	森林整備の推進	-	2	5	-	C	事業の内容について、再度、整理を行い、効果のある事業展開が必要である。
37	市民団体の森づくり活動支援	1	2	4	-	C	事業費に対して、事業の内容が乏しいと考えられるため、内容の見直しを行い、効果のある事業展開が必要である。
38	相馬港の整備促進	6	1	-	-	A	相馬港の利用促進は、大きな課題ではあるが、今後も取組みを推進してほしい。
39	企業誘致の推進による工業団地分譲率の向上	5	2	-	-	A	今後は、工場用地の分割分譲など、新たな手法を用いながら企業誘致をさらに推進してほしい。
40	Uターン窓口の設置	1	4	2	-	B	今後も、企業誘致と地元雇用の促進を継続することが重要である。

平成20年度 相馬市の事務事業の外部評価結果

登録番号	事務事業名	各委員評価(人)				委員会評価	委員会コメント
		A	B	C	D		
41	中心市街地活性化基本計画の策定	-	-	6	-	C	計画が必要なのであれば、策定手法について早急に見直しを行うべきである。
42	相馬民謡の振興	-	3	4	-	C	民謡大会の開催だけでなく、小中学校においても民謡に接する機会を作り、底辺の拡大が必要である。
43	「相馬ブランド」の確立	1	2	4	-	C	ブランドを確立するためには、現在の取り組みでは成果が期待できないと考えられるため、ブランド化の対象品目の見直し、手法の見直しを行い、より精力的に取り組むことが必要である。
44	相馬市都市計画マスタープランの策定	4	3	-	-	A	計画の必要性を感じながら、取り組みが遅れていると考えられるため、策定に向けた取り組みを早急に行うことが必要である。
45	市道整備事業(日下石坪田線)	3	4	-	-	B	現状のまま事業を継続することが妥当である。
46	市道整備事業(中部340号線)	2	5	-	-	B	現状のまま事業を継続することが妥当である。
47	市道整備事業(市道山上初野線)	5	2	-	-	A	この路線は、工業団地西地区へのアクセス道路の一つであり、事業をさらに推進することが妥当である。
48	下水道事業水洗化率の向上	3	4	-	-	B	下水道が供用開始されて15年以上が経過しているにもかかわらず、未接続の世帯・事業所がまだ相当数あるということは非常に問題である。
49	合併処理浄化槽設置整備事業	-	6	1	-	B	現状のまま事業を継続することが妥当である。
50	磯部地区下水道水洗化率の向上	-	5	1	-	B	諸事情があることは理解できるが、100%にする目標年次を明確にして取り組んでいくことが必要である。

平成20年度 相馬市の事務事業の外部評価結果

登録番号	事務事業名	各委員評価(人)				委員会評価	委員会コメント
		A	B	C	D		
51	会議録検索システム導入事業	2	4	1	-	B	市政や市議会に関心をもってもらうために有効であり、継続することが妥当である。
52	学力向上の推進	3	3	1	-	B	学力の向上は必要であるが、学校間の格差につながるようなことは避けてほしい。
53	相馬市まちづくり出前講座(教養講座)の充実	1	6	-	-	B	出前講座の受講者の拡大を図るため、ピアールの強化が必要である。
54	相馬市史編纂事業	4	3	-	-	A	市史編さんは、単に記録を残すというだけでなく、市の文化力を高めるためにも推進することが必要である。
55	デジタルミュージアムの充実	2	4	1	-	B	今後も、内容の充実を図ってほしい。
56	光陽パークゴルフ場運営事業	2	5	-	-	B	利用促進ピアールの推進とともに、公平な接客の徹底を図ってほしい。
57	市主催行事・大会の充実(スポーツを通じた生涯学習への市民参加の推進)	3	4	-	-	B	市民の体力増強や交流促進のため、現状のまま事業を継続することが妥当である。
58	公民館活動の活性化	1	4	2	-	B	各公民館が連携して実施した方が良い事業、地区公民館単独で実施した方が良い事業の振り分けを行い、公民館の活性化を図ることが必要である。
59	東部公民館学習発表事業	2	5	-	-	B	現状のまま事業を継続することが妥当である。
60	サマースクール	-	6	1	-	B	この事業は、単独の公民館事業として実施するよりは、広域的に実施する方が効果が上がると考えられる。

平成20年度 相馬市の事務事業の外部評価結果

登録 番号	事務事業名	各委員評価(人)				委員会 評価	委員会コメント
		A	B	C	D		
61	奥相三十三観音めぐり	-	6	1	-	B	この事業は、単独の公民館事業として実施するよりは、広域的に実施する方が効果が上がると考えられる。
62	八幡みどりのふれあい広場	1	6	-	-	B	現状のまま事業を継続することが妥当である。
63	少年仲間づくり事業	1	6	-	-	B	山上地区と玉野地区の合同事業であり、地域の活性化に効果があると考えられる。
64	日立木ふれあい学習展	-	6	1	-	B	事業のマンネリ化が懸念されるため、内容の見直しが必要と考えられる。
65	学習内容改善	-	6	1	-	B	現状のまま事業を継続することが妥当である。
66	青年教室	1	5	1	-	B	19歳と20歳の青年活動を支援する事業であり、地域の活性化に効果があると考えられる。
67	少年仲間づくり教室(そば打ち教室)	-	6	1	-	B	現状のまま事業を継続することが妥当である。
68	図書館の利活用の促進	5	2	-	-	A	限られた予算や狭隘な駐車場など、条件的には決して恵まれているとは言えないが、図書館利用者の増加が図られていることは大いに評価できる。
69	図書資料等の充実	3	4	-	-	B	現状のまま事業を継続することが妥当である。